

1. 「ソーシャルベンチャー」と「社会企業家」

「**ソーシャルベンチャー**」って何かといえば、社会的課題について、行政や自治体、国家だけでは解決できない問題を市民の力で解決するためにビジネスの手法を使って実施する活動のことである。ソーシャルベンチャーは問題解決優先型であり、常に解決コストを稼ぎ出すために働けるような仕組みを作ろうとする。

社会起業家とはイギリスのシンクタンクによって作られた言葉だが、「起業家精神を持って、ビジネスの手法で社会的課題を解決していく人」のことを指す。

社会起業家（しゃかいきぎょうか）は、**社会変革**（英：[Social change](#)）の担い手（チェンジメーカー）として、社会の課題を、事業により解決する人のことを言う。社会問題を認識し、社会変革を起こすために、ベンチャー企業を創造、組織化、経営するために、起業という手法を採るものを指す。

社会起業家=事業型 NPO と考えられることもあるが、社会起業家は事業成功による社会貢献を目的としていることから、当然、株式会社や有限会社の事業形態をとることもある。

事業の初期段階は、**ソーシャル・ベンチャー** (Social Venture)。
はじめから法人設立というプロセスを踏む場合もあるが、任意団体として地方公共団体の施設利用のための団体登録を起点にはじまる場合が多い。
一定の組織、事業規模、収入源を確立し、安定的な運営をする事業体の中にも、株式会社や特定非営利活動法人、中間法人など法人格を取得することなく任意団体として運営する場合も少なくない。 -[Wikipedia](#)

2. 社会起業家の目指すもの

社会起業家とは、定義が十分に確立されていないが、障害者:高齢者にとって、新しい時代への一つの挑戦モデルとして看過できない生き方の一つであると思われる。

一般的には、企業は利潤の最大化が究極の目的となり、永続的に活動をしていこうとするものである。

他方で、NPOに代表されるように非営利での社会貢献活動や慈善活動を行う市民団体がある。

NPO等の非営利団体も、理念や想いだけでは持続することが困難になり、そこで、

生まれてきた概念が、社会起業家 というキーワードである。

社会起業家とは、社会や地域の課題に、新しい発想で取り組み、ビジネス的手法でその解決にあたる人たちのことである。地域や社会にはたくさんの課題がある。

それらの課題解決のために、「解決の仕組み創り、組織、戦略、実践」を「マネジメント（計画・実行・管理）」できる人のことである。

仕事を生み、営利企業と非営利団体の中間的な手法を取り入れ、事業評価を「継続のための適正利潤」と、「社会変革の影響度」で評価していく考え方である。

しかも、公的な機関には頼らず、自らの手で解決すべく、新しい仕組みを生み出そうとしている人たちが社会起業家であると言える。その仕組みも従来にないような斬新なアイデアで、かつ事業として成立することが社会起業家には欠かせない要素とされている。

しかも、単に収入を得ることだけを目的として事業を興すのではなく、使命感を持って課題に取り組んでいるのも大切なポイントである。

社会の課題を自らの手で解決することが、社会起業家にとっての自己実現でもある。

また、一時的な救済措置ではなく、根本的に社会システムを変え、「よい社会」作ることを目指しているのが社会起業家である。

社会起業家=事業型 NPO と考えられることもあるが、社会起業家は事業成功による社会貢献を目的としていることから、当然、株式会社や有限会社の事業形態をとることもある。

3. シニアの経験や知恵の生きる社会起業家

社会起業家への生き方は、今後の高齢化世代の人々の生き方に一つの方向を与えるものであり、超高齢化社会の到来と急激な財政の悪化に伴う諸問題の顕在化とその解決方法の仕組み作りを通じており、全く新しい時代を迎えて、真剣に検討を重ねる重大事項であろう。

4. 書名「これから働き方はどう変わるのか すべての人々が“社会起業家”となる時代」

「ここに紹介する書の一部を要約すると非常に示唆に富んだ指摘がなされている。」

著 者：社会起業家フォーラム代表

多摩大学大学院教授 田坂 広志 出版社：ダイヤモンド社

“「仕事の報酬」とは何か。

多くの方々は、すぐに「2つの報酬」を思い浮かべるのではないのでしょうか

第1が「給料」や「収入」です。

第2は「役職」や「地位」です。

それがなぜ、すぐ頭に浮かぶのか。

それが「目に見える報酬」だからです。

しかし、我々が忘れてはならないことがあります。仕事の報酬には、目に見えない「大切な報酬」があるのです。

それは「3つの報酬」です。

第1の報酬は「職業人としての能力」です。

第2の報酬は「働き甲斐ある仕事」です。

第3の報酬は「人間としての成長」です。

仕事に一生懸命に取り組むと「職業人としての能力」が磨かれるだけでなく、「働き甲斐ある仕事」ができるだけでなく、「人間としての成長」を遂げていくことができます。

「仕事の報酬」を考えると、「目に見える報酬」と「目に見えない報酬」という視点に加えもう1つ大切な視点があります。

「自ら求めて得るべき報酬」と「結果として得られる報酬」という視点です。

「収入」や「地位」は「結果として得られる報酬」に他ならないが、もし我々が、本当にプロフェッショナルの道を歩みたいと考えるならば、「自ら求めて得るべき報酬」を考えるべきです。

日々の仕事の雑事に忙殺され、仕事に課せられた目標に追われ、競争の場での激しい戦いに疲れ果て、自分は何のためにこの仕事をしているのか。

自分はいかなる社会貢献を目指してこの仕事をしているのか。そのことを忘れてしまう。

ではどうすれば良いのか。「働き方」のスタイルを変えることです。

それは「社会貢献」ということを見据えた「働き方」のスタイルに切り替えることです。

それは、具体的には「社会起業家」のスタイルです。

その働き方は「社会貢献」や「社会変革」の志を持ち、「現在の事業の革新」や「新しい事業の創造」を通じて、「良き社会」を実現しようと考え働くこと。

それが「社会起業家」の働き方のスタイルです。

営利企業にも、「社会貢献」が求められる時代となるからです。

すべての人々が「社会起業家」となる時代です。

その理由を再度整理すると次のようになります。

「社会貢献」の働き方を求める人々が増えている

営利企業にも「社会貢献」が求められる時代となる

非営利組織にも「事業性」が求められる時代となる

「起業家」という言葉が広い意味で使われるようになる

会社を創らずとも「起業家」としての活動が可能になる

「起業家」に必要な知識が容易に手に入るようになる

すなわち、これら6つの「社会的条件」が生まれてきたことによって、これからの時代には誰でも「社会起業家」を目指して歩みを始めることができるのです。

これからの時代には、「社会起業家」の新たなビジョンとスタイルが生まれてくる。

これからの時代には、「起業家」という言葉が「新しい事業を起こす人」という意味を超え、「事業に革新を起こす人」という意味、さらには「社会に変革を起こす人」という意味に使われるようになってくるからです。“以上要約。”

5. 社会起業家に求められる能力、

困っている問題を解決するという強い「志・使命感」

三方・四方よしの事業の仕組みを創り出す「企画力」

志・使命感、事業を関係者に的確に伝える「広報力」

事業の進行を計画・管理していく「マネジメント力」

周囲を巻き込で事業を進めていく「リーダーシップ」

共生・協働の新たな経済の仕組み創り出す「構想力」等

以上を俯瞰させる為に、パートナーや支援者を募り、事業を進める力。

関連リンク

事業NO	20			
事業名	ソーシャルベンチャーと社会企業家の時代			
リンク名		リンクアドレス		
社会企業家フォーラム		http://jsef.jp/community/		
社会企業家を応援します		http://www.humind.or.jp/action.pdf#search='社会起業家'		
大阪府社会起業家ホームページ		http://www.fine-osaka.jp/social_entrepreneur/index.html#		
“社会起業家”の普及・養成		http://www.goodsite.gr.jp/retrieve/theme/200709.html		
「社会起業家」の父が語る		http://www.globe-walkers.com/ohno/interview/drayton.html		
社会起業家育成委員会の活動		http://yaplog.jp/syakaikigyouka/archive/50		
アイデアを駆使して社会を変える！		http://book.asahi.com/special/TKY200711300088.html		
すべての人々が“社会起業家”となる時代		http://www.utobrain.co.jp/review/2004/010502/		
社会起業家		http://wanadu.net/		
社会起業家とは？		http://nposupport.blog92.fc2.com/blog-entry-246.html		
インタビュー社会起業家のモチベーション		http://www.geocities.jp/das720/research/paper/motivation.pdf#search		
社会起業家とは何か？		http://www.shounan.com/jc/kb/research1.html		
社会起業家ってどんな人？		http://allabout.co.jp/family/volunteer/closeup/CU20070321A/		
社会起業家カフェ		http://www.osakanpo-center.com/social_entre_cafe/social_entre.html		
初耳コラム：社会企業家と非社会企業家		http://d.hatena.ne.jp/fuku33/20070924/1190616454		
memisブログ：社会起業家		http://ameblo.jp/memis/		

中高年・団塊世代...へ戻る

脳卒中障害者...へ戻る